

堺市消防局特別高度救助隊研修



日時 平成25年10月15日（火）～18日（金）

場所 大阪府堺市堺区大浜南町3-2-5 堺市消防局

派遣職員 消防司令補 三代 茂信 消防士長 関根 大索

10月15日(火)



神戸空港より関西空港へ移動し、関空保安基地機動救難士の訓練を見学する。大荒れの天気の中で訓練を実施していました。



10月16日(水)



戎島訓練場

資機材点検後に戎島訓練場に移動して、出場に備えながら高度救助資機材取り扱い訓練を実施する。



ダーティーブリーチング、クリーンブリーチングを国際緊急援助隊隊員の指導のもと実施する。



堺市消防局臨海分署へ移動して、消防艇、特別高度工作車、空気充填車、多目的水利システム車の説明を受ける。

ブローア、ウォーターカッターの取り扱い訓練を実施する。

臨海コンビナートを管轄する署であり、火災防御訓練を繰り返し実施していました。

18時30分まで訓練場にて訓練を実施して、局へ戻る。

残念ながら昼間は、出場がありませんでした。



局へ戻り車庫にて特殊災害対応訓練を実施



通信指令室

1日300件前後の119番通報を10台の指令卓にて対応している。

10月17日（木）



大阪市消防局にて第3回大阪府下火災事例発表会に出席する。

13時より堺市消防局特別高度救助隊員との意見交換会

10月18日（金）

阪神大震災にて甚大な被害を受けた神戸市三宮を震災当時の活動などの話を交え視察して研修を終了した。

おわりに

今回の特別高度救助隊研修に際しまして、職員の皆様のご理解とご協力をいただき実現できたこと深く感謝を申し上げます。

また堺市消防局フェニックスレスキュー皆様、関空保安基地機動救難士の皆様には、公務ご多忙中にもかかわらず、受け入れを許可していただき懇切丁寧なご指導をしていただき深く感謝申し上げます。今回の研修にて習得した技術、知識を災害現場に反映させていきたいと思っております。